

令和7年度 学校評価（7月）結果の【考察】

- 1 前回の結果（令和6年度7月）より0.3ポイント以上向上したもの
 - ・ 教師の自己評価
 - 質問3 「学校の取組の発信」（+0.4）
 - 質問7 「学習状況の発信」（+0.3）
 - 質問11 「道徳教育における家庭との連携」（+0.3）
 - 質問21 「生活習慣の指導」（+0.3）
 - ・ 保護者の評価・・・該当項目なし
 - ・ 児童の評価・・・該当項目なし
- 2 前回の結果（令和6年度7月）より0.3ポイント以上下降したもので配慮すべき事項
 - ・ 教師の自己評価・・・該当事項なし
 - ・ 保護者の評価・・・該当項目なし
 - ・ 児童の評価・・・該当項目なし
- 3 全体的な傾向
 - (1) 教師の自己評価
 - 今回のアンケートでは、0.3ポイント以上下降した項目が見られず、教職員の異動に伴う影響は少ない。しかしながら減少が見られる項目については、2学期から改善していかねなければならない。
 - 質問3「学校の取組の発信」（+0.4）…学級通信・校報等で学校や学級の様子をお知らせしている。昨年度より部数が増えており教職員の努力が感じられた。しかしながら保護者の評価は-0.2と下降しており、HPの画像が影響していると考えられる。
 - 質問9「場に応じた発表の仕方」（-0.2）…昨年度、学級発表の時間を確保できなかったため、本年度は年度当初に各学年の発表月を決定して計画立てて準備できるようにした。発表後の意見・感想の声が小さく、内容もマンネリ化しているため指導していきたい。
 - 質問~~14~~¹⁴「差別についての日頃の指導」（-0.2）…今年度不登校傾向・いじめ等の発生件数が少なく、指導する機会が少なかったこともある。しかしながら差別については教職員一人一人が常に危機意識をもって対応していくよう声掛けを行っていく。
 - 質問17「あいさつや場に応じた言葉遣い」（-0.2）…挨拶運動への取組がマンネリ化しているため企画委員会を中心に新しい取組を考えている。児童だけでなく、教職員から元気な挨拶ができるように意識を高めていきたい。
 - 質問20「安全・防災教育」…6月17日に防災アラートを活用して避難訓練を実施した。今年度初めてということもあり、私語が多く、真剣な面持ちで取り組むことができていなかった。事前事後指導をしっかりと行い、常に危機意識を持って取り組むようにしていく。
 - 質問25・26「特別支援」…各学級に配慮を要する児童が在籍し、生活支援員と協力して指導を進めている。今年度は、教育委員会よりスクールサポーターリーダーが毎週来校し児童に関わっていただいたり、南えひめ病院の療育支援心理士にも来校していただいたりして児童一人一人の理解に努めることができている。

(2) 保護者の評価

- 質問 3-4「家庭学習の習慣化」(+0.2)…毎月行っている「学習頑張り週間」や学年ごとの「朝読書の図書室利用」など少しずつ定着してきている。しかしながら個人差が大きく、習慣化については家庭で差があるように感じる。今後は学力の定着にもつながるよう図書の選定や学習時間の確保を家庭と連携して取り組んでいきたい。
- 質問 2-1「通信等で分かりやすく伝えている」(-0.2)は、HPの画像が小さくなり悪くなったことが原因と考えられる。このことは愛媛県教育委員会より画像の制限があったため変更を余儀なくされた。(画像の掲示は、拡大しても児童の顔がはっきりと分からない程度の画質)また児童の顔が映らないように背後からの画像にしている。このことについては、1学期末のアンケート結果の報告で保護者に連絡している。
- 0.1 ポイント下降している項目が多いが、家庭生活での子どもたちの様子を見て判断されているため、自己評価が厳しいことも考えられる。校訓である「あかるく やさしく たくましく」を全校で取り組めるよう働きかけていきたい。

(3) 児童の自己評価

- 7つの項目で 3.5 ポイント以上の高評価を得られた。中でも、質問 5「学校は楽しい」が 3.8 ポイントと高く、次いで質問 2「友達と仲良く」3.7 ポイントとなっている。児童会による集会活動や体験的な活動が行われ、笑顔が見られる機会が増えたことが考えられる。
- 質問 4「勉強は楽しくて分かりやすい」(-0.2)は、学担が変わり指導内容が増えてきたことが考えられる。教職員は「分かりやすい授業」を目指して日々研鑽を深めていますので、今後が期待できます。
- 質問 7「先生は話をよく聞いてくれる」(-0.2)は、教職員のゆとりがなくなっていることが考えられる。業務改善は進んでいるものの、今年度はパソコンが新しくなり年度当初はご負担をかけていた。また放課後の水泳練習が始まり、児童とゆっくり話す時間を確保できていなかった。今後、業間（アップタイムやクラスタイム）を利用して、児童一人一人と話せる機会を作っていきたい。また学担以外の教職員と話せるように配慮していく。

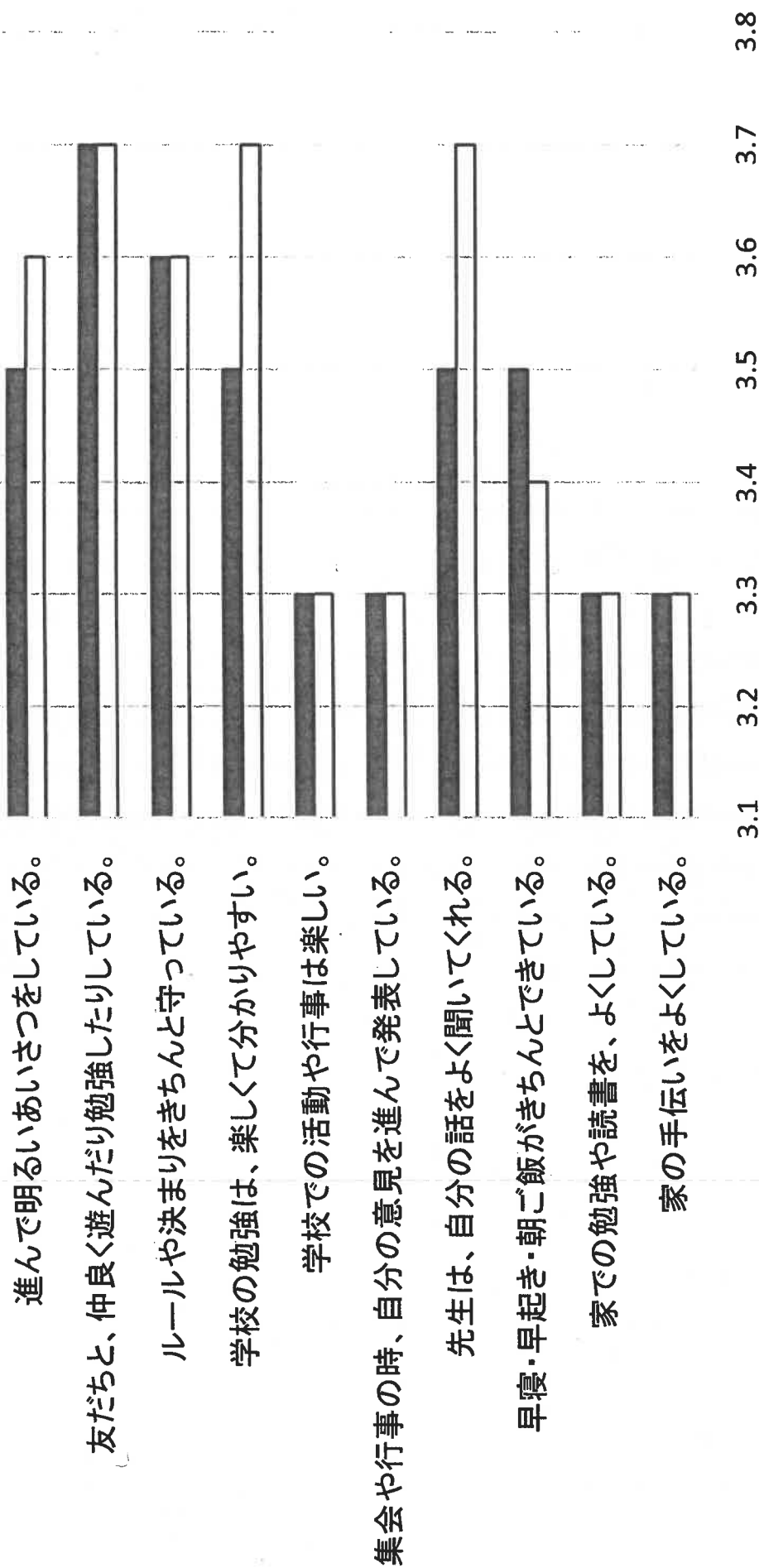
4 今後の指導等

- ・ HPや通信等を用いて、児童の学校生活の様子を随時知らせ、保護者や地域の方へ見える化を図る。画像の変更への理解をお願いする。
- ・ 道徳及び人権・同和教育における家庭との連携について、共通理解を図り、子供たちの学びや変化を家庭へ発信していく。
- ・ 教職員の自己評価が向上するよう、情報交換や雑談を大切にし、話しやすい職場・安らげる職場を目指す。また勤務時間を意識した働き方改革を進めていく。

今回の評価を踏まえて特に次のように重点項目を設定し、焦点化して取り組むこととする。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 望ましい集団作り<ul style="list-style-type: none">○ 気持ちの良いあいさつと場に応じた言葉遣い2 学習の充実<ul style="list-style-type: none">○ 表現力の育成（発表する場の確保）3 地域・家庭と連携した教育の実践<ul style="list-style-type: none">○ 道徳教育・学びの様子の情報発信○ いじめ・不登校の未然防止を目指した連携 |
|---|

学校評価まとめ児童アンケート



■ 今回 □ R6.7

学校評価まとめ保護者アンケート

子どもは「あかるく元気な子」に育っている。

子どもは「明るく思いやりのある子」に育っている。

子どもは「たくましく最後までがんばる子」に育っている。

子どもは、よくあいさつをする。

子どもは、授業が分かりやすく楽しいようだ。

通信等で教育方針や子どもの様子を分かりやすく伝えて…

学校は、いじめ・不登校をなくすように取り組んでいる。

子どもにとって、学校には楽しみなもの(行事等)があるよ…

学校は、子どもたちの安全や事故防止に配慮している。

先生は、悩みや相談に適切に応じてくれる。

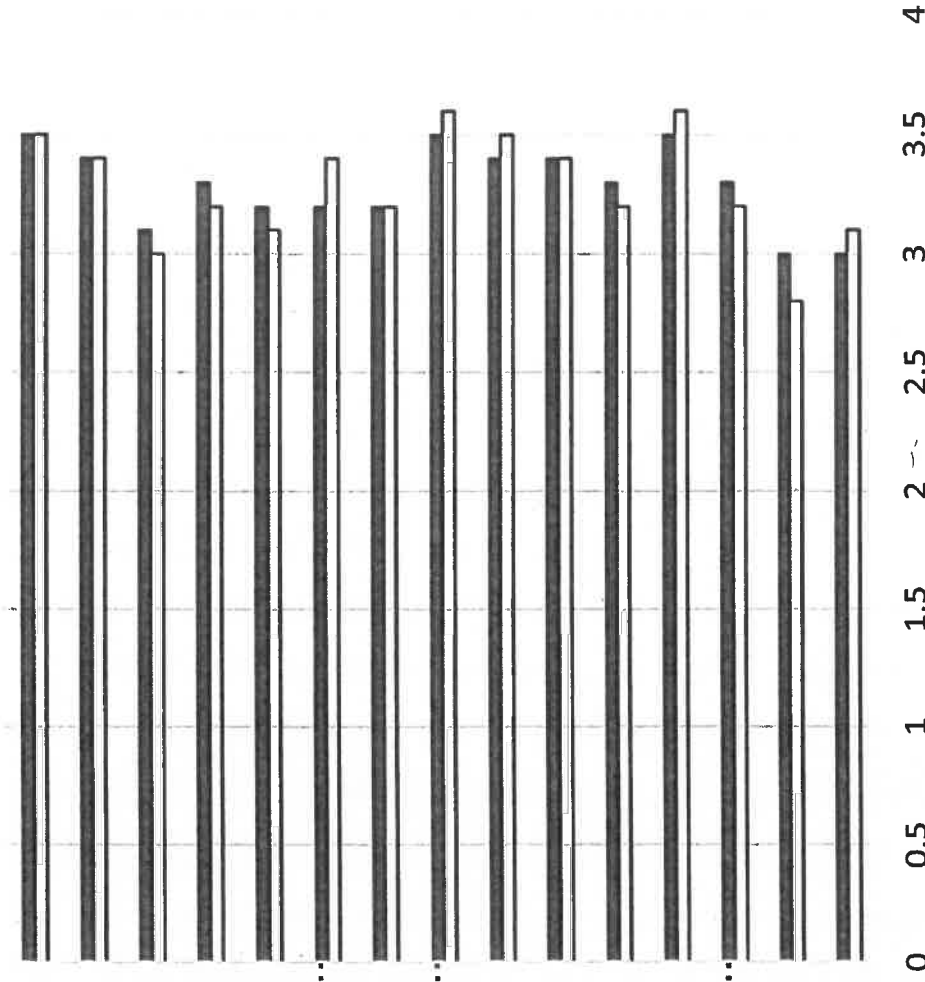
学校の基本方針や活動内容を理解している。

PTA活動や授業参観等に積極的に参加している。

子どもは、早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣が身に付いて…

子どもは、家庭で学習や読書する習慣が身に付いている。

子どもは、家庭でよく手伝いをしている。



■ 今回 □ R6.7

学校評価まとめ 教職員アンケート

